

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、WEB のみの開催とするなど、開催方法を変更する場合があります

沼津まちなかデザイン会議

> 中心市街地まちづくり戦略 <

- Vol.3 -

Cross × Talk



PLAYER : 鈴木 智博 氏

合同会社 REIVER 代表 / TINY STAND 代表



GUEST : 青木 純 氏

沼津市リノベーションまちづくりアドバイザー
株式会社 nest 代表取締役 / 株式会社まめくらし 代表取締役 / 他

1986年東京生まれ東京育ち。東京・ジャカルタで建築設計業務に従事したのち、「第3回リノベーションスクール@沼津」に参加して木製屋台ブランド TINY STANDを開発。2019年合同会社REIVER(レイバー)を設立。都市・まち・建築に関わるデザインによるコミュニティの再構築を目指し、空間設計やプロジェクトデザインに取り組む。2019年 沼津市戸田にまちづくり拠点としての宿泊施設「タゴール・ハーバー・ホテル」、2021年に珈琲焙煎所「アーキペラゴ・ロースタリー」を開業、同年に空きビルを活用した沼津市のまちなか居住推進事業をプロデュース。

生まれ育った東京都豊島区の池袋を舞台にリノベーションまちづくりやウォークアブル推進の公民連携事業を推進する。南池袋公園・グリーン大通りを舞台に2017年から取り組む『IKEBUKURO LIVING LOOP』ではイベントからハード整備につなげ、新たなまちの個性となる「まちなかリビングのある日常」の風景を地元企業とのコンソーシアムで育む。コミュニティが価値を育む「青豆ハウス」「高門寺アパートメント」等の企画運営を通して主宰する「大家の学校」で愛ある大家の育成にも取り組む。2021年より国土交通省「ひと」と「くらし」の未来研究会」コアアドバイザー。奈良市公園マネジメント基本計画策定委員。

● プログラム

- ① 「中心市街地まちづくり戦略」の紹介
- ② GUEST TALK : 「新しいパブリックのつくり方」
- ③ PLAYER TALK : 「空きビル活用のプロセスをデザインする」
- ④ CROSS × TALK

「市民や民間が主導する、沼津のまちづくり」を考えます



沼津駅南口の中期イメージ

沼津駅周辺の市街地をヒト中心の魅力ある場所へと再生するため、2020年3月に「沼津市中心市街地まちづくり戦略」を策定しました。本企画では、2021年度のまちづくり戦略の取組を沼津市より紹介するとともに、「沼津まちなかデザイン会議」と題し、全国で活躍するゲストをお呼びし、沼津でまちづくりに取り組む地域のプレイヤーと一緒に、沼津の未来のまちなかの姿を考えます。

● 開催日時

1 / 25 (火)

時間 : 19時 ~ 21時



> 参加受付フォーム
QRコードより申込下さい
受付は 1/24 12:00 まで

定員 : 会場 40名 ・ WEB 参加 60名 (無料 ・ 事前申込制 ・ 先着)
主催 : 沼津市 問合せ先 : 都市計画部 まちづくり政策課都市計画係
E-Mail : mati-seisaku@city.numazu.lg.jp
TEL : 055-934-4760

※市へのメール・電話でも参加受付可能です。

● 会場

沼津ラクーン 6階 (沼津市大手町 3-4-1)

